

談話会通信 No.29

東京クモ談話会

きまぐれポスト	_____	2
伝言板	_____	6
談話室	_____	7
けいこ板	_____	8

トリノフンダマツもほとんど卵のうを作り終り、ツヨロウグモ・ナガコガネグモなども、とんとん成長しておりますが、皆様のクモ類の観察研究はいかがでしょうか。

新入会員の紹介

- 伊佐地利行 さん 〒270 千葉県松戸市五香 665
- 浅間 茂 さん 〒270-11 千葉県我孫子市中峠 1563-6
TEL 0471-(877)-1797
- 利岡 匠 さん 〒158 東京都世田谷区用賀 3-27-7
TEL 03-(709)-7389
- 日下部 光代 さん 〒101 東京都千代田区神田和泉町 1-1.
- 原 勝司 さん 〒369-12 埼玉県大里郡寄居町大字桜沢 327-1
- 相良 淳一 さん 〒327-05 栃木県安蘇郡葛生町中央東 2丁目 8-21.

秋の観察・採集会 10月10日(水)

今回で、津久井城山の調査は、春、夏、秋と3回目です。まだまだ種数もふえると
思いますので、みなさまもふるって御参加下さい。

日時： 10月10日(水) 午前10時集合

集合場所： 横浜線橋本駅前

場所： 津久井城山

持ちもの： 昼食・採集観察用具など。

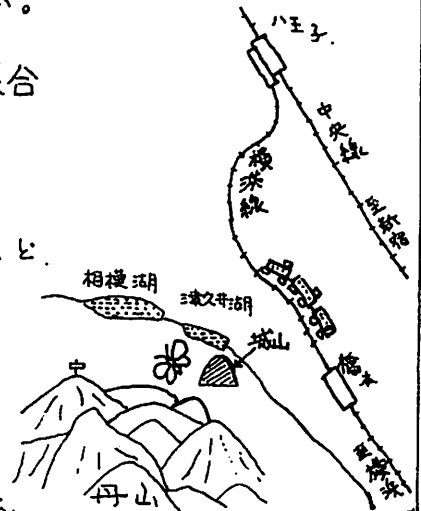
※雨天決行。

〈連絡先〉

高橋 登 044.288.2921.

松浦 祐司 044.422.2842.

以上、東京蜘蛛談話会。



きまぐれ ポスト

▶ 吉田 哉 さんより

学名・和名に関する一考察

命名に関する記事の発表には出版物に関する規準がある。しかし、どの印刷方法が良くどの方法が悪いなどという明確な規定はない。

要するに長く残るものと言語である。孔版は良くないところがあるが、本文は孔版で図版が活版のものは並次に通用している。オフセットと言っても、図は立派なものである。これらの点はどちらか再考の必要があるが、一概に断定できない問題だと思ふ。言語については、新名称の出版には広く通用する言語を使うべきだと言ふ事はだれもが認める事だろう。

ツノニムや乾属に関して欧文で理由を著くりが親切だと思ふ。しかし、ツノニムについて見れば、多くの論文ではツノニム表の中にたゞNEW SYNONYMY とだけ書いてある。表中に出ている学名はすでに文献に出ている名称であるので、その分類を研究している人は知っている名称は必ずである。単に、NEW SYNONYMY と書いただけで事は足る問題だと思ふ。その判断が正しいかどうかは、多くの研究者によって明らかにされるべき問題だと思ふ。その点から考えれば、ツノニム表があるのだったら他は日本語で書いても、欧文と何ら変わりはないと思ふ。乾属についても同様だと思ふ。

生物の名称には、学名他に和名という日本だけで通用する名称がある。和名は必ずしも付いているわけではないが、非常に重要なるのである。一般には、みな生物の和名を和名で呼んでいる。このように必要性があるから付いていると言て良い。特に種子植物、哺乳類、蝶などの人間になじみの深いものには、必ず付いている。その点ダニなどには和名のないものも多い。これは必要性がないからである。ウモについて見るとほとんどのものに和名がある。これは、みんなが必要性を認めているからに外ならない。さらに、和名があることによって親しみやすくし、研究者の底辺を広げることにもなると思ふ。生物の和名を使うのは、学者だけでなくアマチュアもいるのである。仮称と言ふ事は再考の必要があるが、ある方が使いやすいうからである。

▶ 松本 誠治 さんより

トビックスをいただきました。

安藤博司氏が1979年8月20日、千葉県東金市油井の桑園でムツトゲイセキグモを採集しました。私には、カラースライドを送ってくれたので、大きさなど不明ですが♂ではありません。



▶ 鈴木勝浩 さんより

いただきました。

原蛛亜目5種が1日で
みられる!

8月15日、終戦記念日にもかかわらず、われら戦争を知らない子供たち(?)6名(くまだ・しまだ・さだもと・よしかわ・はやし・すずき)は、関東に産すると考えられている原蛛亜目5種(カネコ・キツノウエ・キノボリ・ツグモ・ワスレ)を観ることを目的に、午後1時、神奈川県のとある神社に集まりました。

くまださんは、1人でワスレ (*Calommata signatum*) をみつけ得意そう。その間、さだもとよしかわ両君がカネコ (*Antrodiaetus noritzi*) をみつけてきました。さらに、よしかわ君はキツノウエ (*Latouchia typica*) をさだもと君はキノボリ (*Ummidia fragaria*) をまもなくみつけました。

残るは何だ! そうです。

ツグモです。

くまださんの号令が神社の森にこだまします。“ツグモを探せ”ここでようやく遠隔の地からはるばる鎌倉へと旅にきた2人の存在をしってもらうことができました。

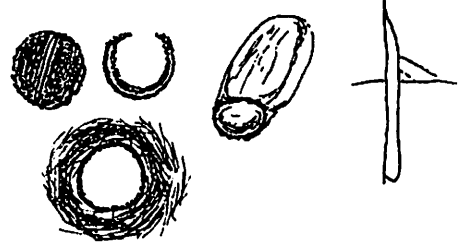
なんと原蛛亜目5種が、わずか1日の間に観ることができのです。

地中生活のクモに嫌われている私は、神奈川県の方々の観察眼におどろくやう。場所のすばらしさにおどろくやう。

原蛛亜目のクモたちも、特に、さだもと・よしかわ両君。それに、まっちゃんさん(いづみ)

神奈川県の方]の手にかかれば、すぐに正体をみまわられてしまうように思いました。

{すずきかつひろ記}



▶ 出版ニュース

最北の地の会員、根室の高田勝さんが、福音館書店より「ニムオロ原野の片隅から」という読み物を出版されました。内容はきわめて高田さんらしい文章で、著者名を見なくてもこれは高田さんの本だとわかるほどです。内容を讀まれて氏に会いたくなった方は、どうぞ「フーロ荘」(高田さんのお宅の名前、高野伸ニムオロの別荘??)

環境バツグンで家の前のオホーツクの海岸ではイソコモリが砂あきびを、後の池ではミズグモが水あきびをして

いるところ(ような)

(巻)

以前… 正しい前のことだったが、少し前のことだったか忘れたが… 小沢與樹さんが「ボリシング」を見ていたら、スパイダ-根本という選手が活やくしていた」と話をしてくれた記憶がある。通信にも載ったような気がして調べてみましたが、さすが28号にもなると1回見ただけで見つからず、まあいいや、というこじにしてしまった。

そのスパイダ-根本氏のことを新聞に載っていたので切り抜きました。根本様

昭和54年8月10日

手の得意とする「リモ戦法」とは何かなるものが考えてみるだけでも楽しい。蝶の様に舞い、蜂の様に刺す。という戦法は聞いたことがあるが、まさか手が6本もあるリモ果ではあるまいし、オニがモの様にどろりとかまえていて網(この場合手か)にかかるとのを待って(リモの圏内)サッと手を出して倒すのか、ナガコがネメたいにフットワークよろしく前後しながらパンチをくり出すのか、ハエトリがモのごとくピョンピョンはね飛びながら打つのか。考えてみるだけでも楽しい。

東京スポーツ



てよみがえったわけ。
 11月8日世界フエザ-級に挑戦
 中なぬす、ケン(のい)会場で



苦節六年、よみがえ
 つた、クモ殺法、根本

10月8日世界フ
 エザ-級に挑戦

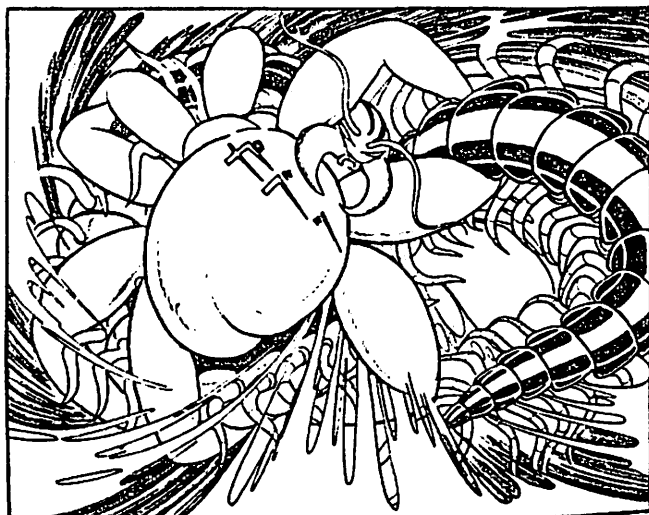
11月8日世界フエザ-級に挑戦
 法で世界を奪
 こつみせる—
 日本フエザ-級
 王若スパイダ-
 ・根本(堂加有
 次)の世界挑戦
 が正式に決まっ
 た。十月八日、
 東京・後樂園ホ
 ルでWBA世界フエザ-級主
 審エウゼビオ・ペドロサ(パナ
 マ)に挑戦するもの。根本は四
 十八年九月にE・マルセル(当
 時WBA世界フエザ-級王者)
 に挑戦、9回KO負けで大敗を
 喫している。美し苦節六年

◎時計師 価値販売
 内外一流メーター
 (30分引)

試合になる? 興味津々だが、
 この20年の道をいかに根本が生
 かし、下からへんすか。

11月4日には後樂園ホ
 ルで用務部長が並相闘に挑戦し
 中三日空いてすべの根本のアタ
 ック、何やらあわただしい。用
 務が子連れなら、根本も一見の
 親むにやら因縁めいひんが
 ……でもあれ「生」はなわけて
 いる。世界を取って蘇がねは
 ……この苦節六年を突進し根
 本の世界挑戦、さぞか試合
 になる。

(勝)



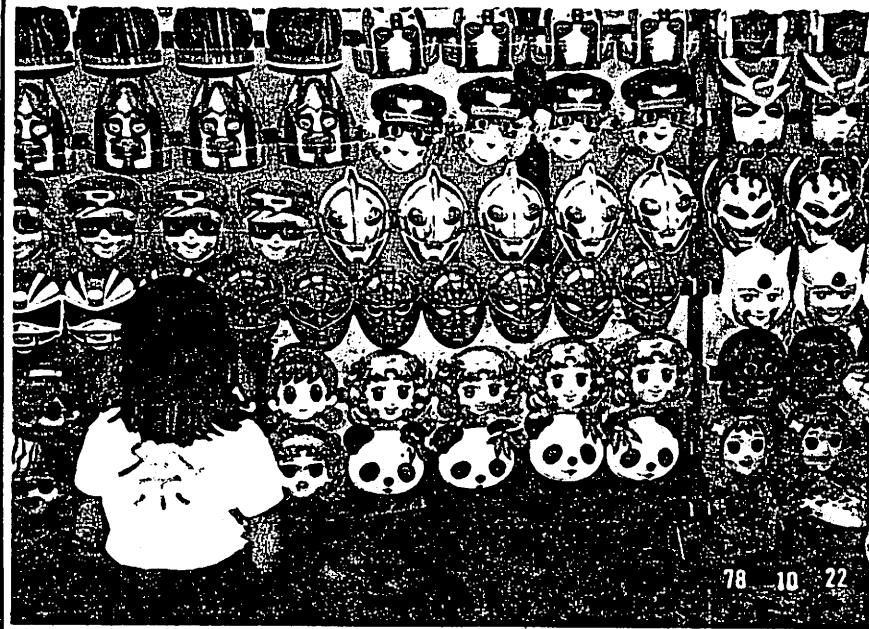
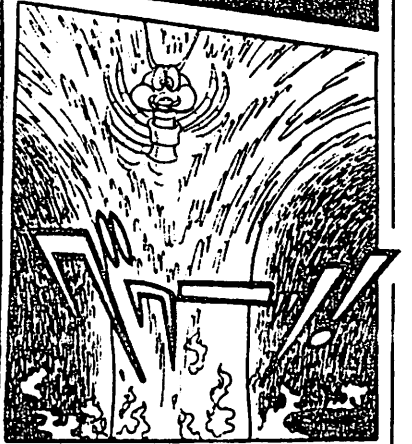
▲ 熊田憲一さんより
 いただきました

▲ 田中理恵さんより
 いただきました。

この絵は、どうもクモ
 のようです。

『百物語』
 手塚治虫

次ページへつづく。



松本さんより

わかる人は エライ!

78 10 22

伝言板

12時間と経過しても消えません。

「力をつけようかい」を開きます。

日時 10月14日(日) 1:00PM 集信。

場所 国分寺 新海栄一氏宅

私達の目によくふれるヒメグモ科の仲間を、もう一度見なおしてみたいと思います。

仔グモの時・若グモの時・その他色や斑紋に変異のあるクモや見まちがいやすいかクモ等、それぞれ見くらべて同定力をつけましょう。

◎各自手持のヒメグモ科の標本を全部持参して下さい。

◎標本を持たなくても勉強したいと思う人は、どんどん参加して下さい。

新海栄一氏宅を知らない人は連絡して下さい。

中央線国分寺駅(北口)で12:45まで待っています。

連絡 佐藤幸子 まで (TEL 0488-64-5312)

・熊田さんより

日本及び世界のイソウロウグモを、分類の為求めています。お持ちの方で寄附もしくは、お貸し頂ける方は、熊田までお願いいたします。

・松浦さんより

日本及びアジア諸国の、古蛛亜目・原蛛亜目を、分類の為求めています。お持ちの方で寄附もしくは、お貸し頂ける方は、松浦までお願いいたします。

・小野展嗣さんが、9月12日、夜9時の飛行機でドイツへ向け出発されました。今回、向うでの滞在は1年～1年半ほどの予定だそうです。

皆様に「よろしく」とのことでした。

※ 伝言板の記事をお願いします。私的な事でも結構です
じんじんおよせ下さい

談話室

東京蜘蛛談話会 昭和53年度

決算報告

収入

繰越金	142,755-
会費	170,650-
寄附	3,690-
バックナンバー その他売上	14,650-
例会残金 繰り入れ	2,610-
超過頁代	15,000-

349,355-

支出

印刷代	KISHIDAIA No 42	110,000-
		" No 43
	談話会通信 No.21~25 合計	15,500-
送料	KISHIDAIA 合計	20,240-
	談話会通信 合計	18,150-
	他(含 KISHIDAIA 通信 切手貼布分)	7,550-
会合費	5,640-	
事務費	8,095-	

258,175-

差引 残高(昭和54年度繰越) 91,180-

(但し53年度発行分 KISHIDAIA No.44
印刷代及送料含む)

会計 新海 栄一

上記の通り相違
ありません。

監査 小澤 資樹
大熊 千代子

けいじばん

▶ 次号はいよいよ30号です。
この記念すべき30号は、
今年中に出したいとは思って
おりますが、何せもう原稿が
一編もありません。今年中に
出すためには何が必要か、も
うおわかりのことでしょう。
皆さんようしくお願ひします

(編集 松)

▶ 今回より皆さんの情報
や希望など公的(?)私的
に言えるようにと伝言板を
設けましたのでどうぞ、
御利用下さい。

全責任は私にありますが、
伝言板記事としてふさわし
くないものは、cutさせて
頂くこともあると思います。

(編集 松)

ニュース速報

KISHIDAIAの前編集局長
熊田憲一氏と通信の前
発行責任者 田中理恵さん
が11月4日 結婚式を挙
げることになりました

初の会員じうしの夫妻
誕生ですので、皆様
祝電等の準備よろしく
か願ひいたします。

式場：王子市明神町4丁目10-3
子安神社 葵記念館

です

編集後記

忙がしい忙がしいと一人で
あ、ちやこ、ちやと走り回って
いて通信が遅くなり申し分
ありません。

記念すべき30号は11月中旬
頃に発行予定でおりますが
どうなることやら……

トタテグモのようにどっしりと
構えていたい私です。

松浦

東京クモ談話会

—通信 29号—

1979年9月30日 発行

・本部

〒191 東京都日野市豊田 1896

萱嶋 泉 氏 TEL 0425(81)7128

・発行責任 編集

〒211 神奈川県 川崎市中原区
荻宿 612

松浦 祐司 TEL 044(422)2862

発行に關しての全責任は松浦にあります。